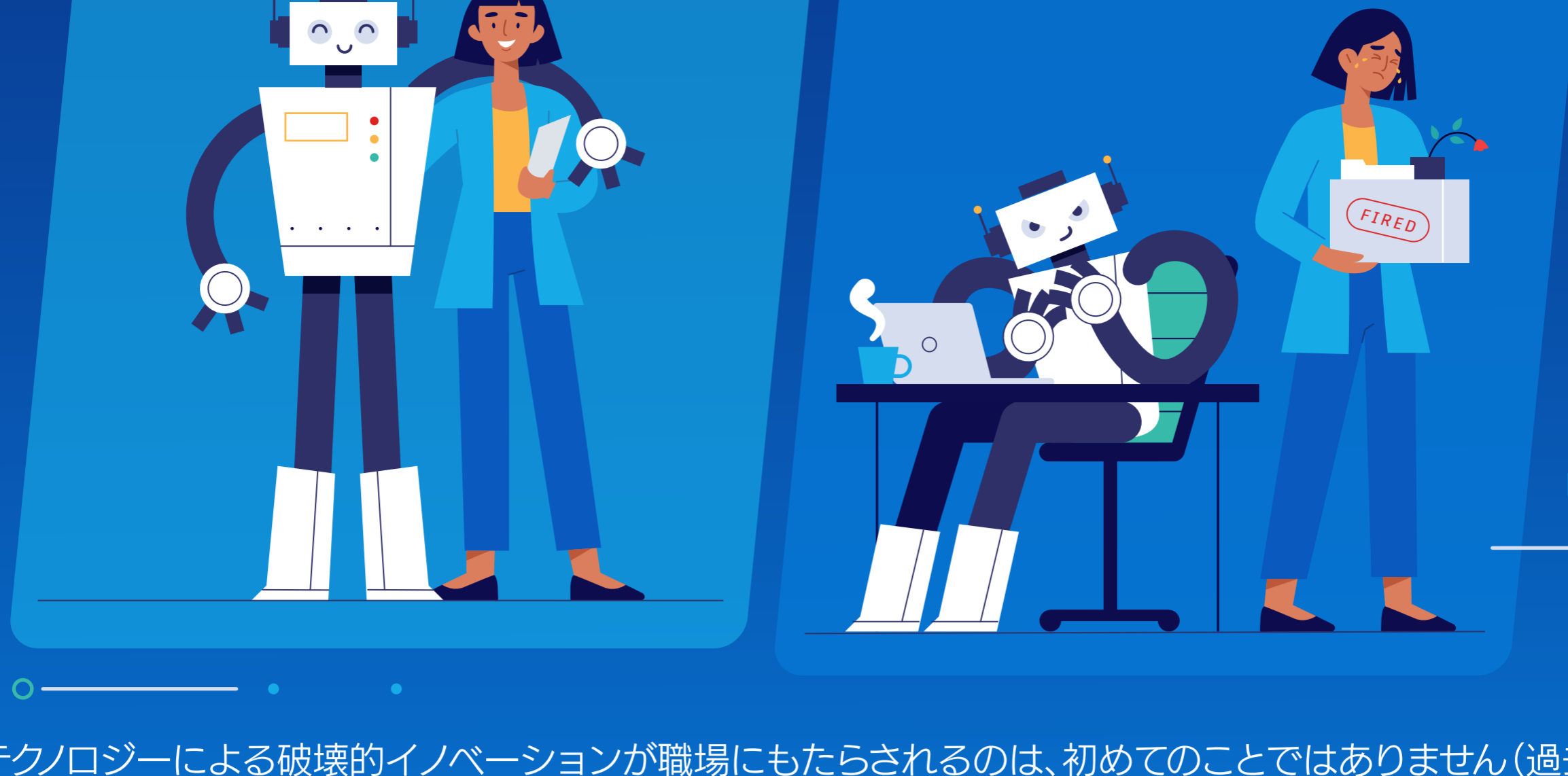


AI・ROBOTICS

自動化は敵か、味方か？

労働者はスキルを高めることで、将来の劇的な変化に適応し、成功を収めることができます。



テクノロジーによる破壊的イノベーションが職場にもたらされるのは、初めてのことでありません(過去にもパソコンやATMなどがありました)。そして、これが最後でもないでしょう。ただし、ロボティクスやAIのようなテクノロジーは、反復するタスクの自動化はできますが、仕事自体を自動化できるわけではありません。そしてこうしたテクノロジーは最終的に、新たな機会を生み出します。

良いニュース

労働者の仕事は自動化によって置き換えられるのではなく、実際にはより多くの仕事が創出されます。

2025年までに、自動化によって
1,200万人の新規雇用が生まれる見込みです。¹



意識を変える

自動化テクノロジーの台頭をきっかけに、雇用主も労働者も「生涯学習」の意識を育む必要があります。

被雇用者全体の50%が、2025年までにスキルを再構築する必要があります。

ロボットに慣れ親しむなら 今がチャンス

ロボットは未来のものではありません。既に仕事環境へ導入され、自動化やAI、VRなどのテクノロジーとともに仕事の本質を変えつつあります。今後は、次のような仕事が増えていくでしょう。

ロボットを使った作業

ロボットやその他のツールを構築、コーディング、実行、運用。



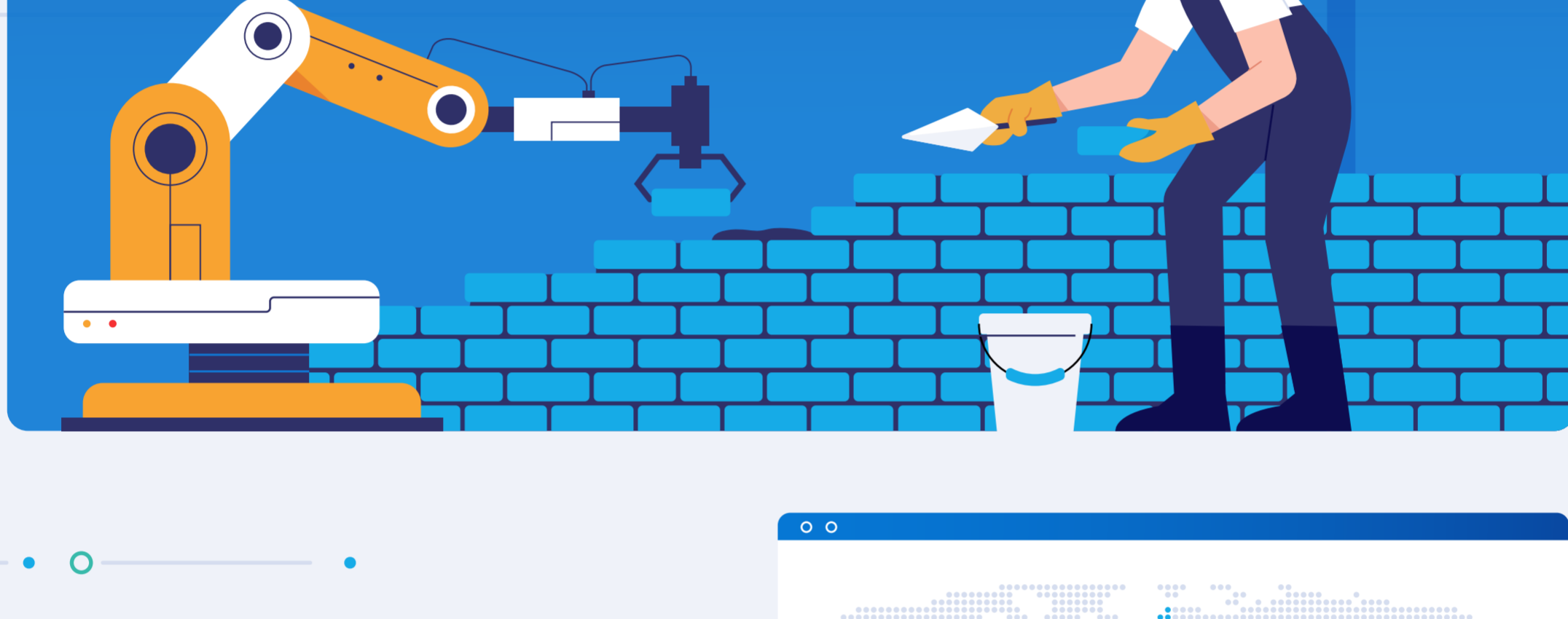
人間ならではのスキルを使った作業

共感、創造力、クリティカルシンキングによって複雑な問題を解決。



協働ロボットとの作業

ロボットと協力してタスクを実行。



米国や欧州では、**テクニカルスキル**(テクノロジー、コーディング関連業務)のニーズが今後10年間で**58%**増加する見込みです。**高度な社会情緒的スキル**(自発性、リーダーシップ、起業家精神)へのニーズは**33%**増加する見込みです。²



テクノロジーが今後1~3年間のうちにビジネスへ大きな影響をもたらすと、
製造業および建設業界の**約50%**の企業が予想しています。³



自動化とロボティクス

製造関連企業の**46%**

建設関連企業の**45%**

自動化とロボティクスがビジネスに大きな影響をもたらすと予想



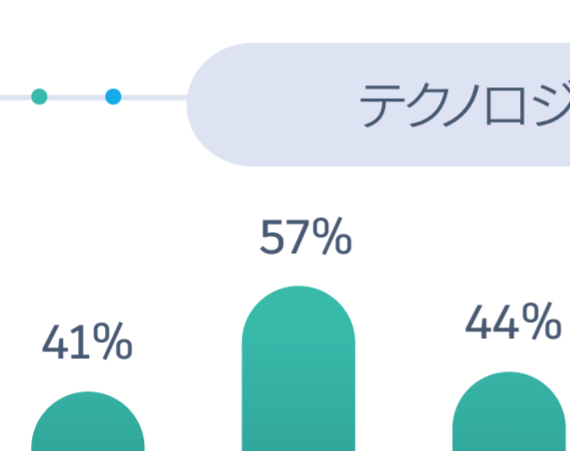
AIとVR

製造関連企業の**46%**

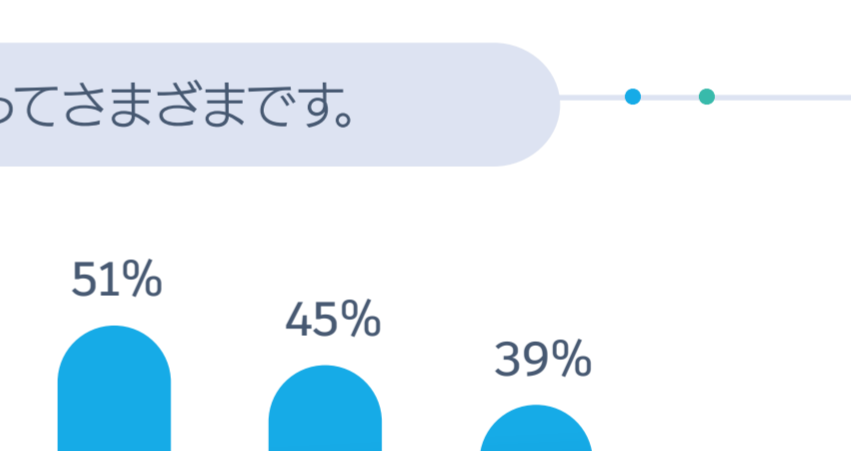
建設関連企業の**44%**

AIとVRがビジネスに大きな影響をもたらすと予想

テクノロジーによる影響は地域によってさまざまです。



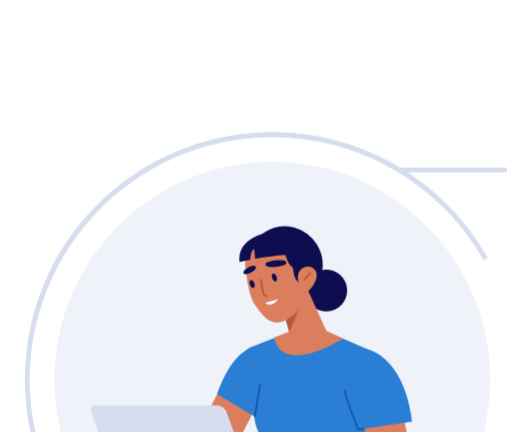
APAC(アジア太平洋地域)の企業は、自動化とロボティクスがより大きな影響をもたらすと予想



南北アメリカの企業はAIとVRがより大きな影響をもたらすと予想

ビジネスリーダーにできること

企業は、被雇用者のスキルの再構築と向上に取り組むことで、レジリエンスを高めるとともに、生涯学習の意識を促進できます。政府機関、労働組合、教育・研修期間と連携して取り組みを行っている企業の多くが、大きな成果を上げています。



「被雇用者の94%が、キャリア構築のサポートをしてくれる企業に長く勤めたいと回答しています」

-人材マーケットプレイス企業、Gloat社CEO/Ben Reuveni氏⁴

今、企業にできること^{5,6}

- 被雇用者のキャリアを長期的にサポート**
McKinsey & Company社は、「**ReGeneration(再生)**」という取り組みで、自動化テクノロジーによって仕事を失った、または無職の期間を経て復職した、米国・シンガポール・スペインの中堅社員を支援しています。
- 新方式の研修や認定を実施**
韓国の**単位バンク制度**では、あらゆる年代の学生がさまざまな方法で獲得した単位を蓄積しながら、学位取得を目指すことができます。
- 仕事やキャリアパスを明確化**
Unilever社の**FLEX Experiences**人材マーケットプレイスではAIを活用し、100カ国以上の従業員のプロフィールに基づいて従業員と仕事をマッチングしています。⁷
- チームでスキルアップ**
IBM社は、教育機関のパートナーとともに共同開発した**SkillsBuild**プラットフォームを通じて、18カ国の従業員にキャリア適合性の評価、研修、コーチングを提供しています。⁸

自動化の未来を生き抜く トップスキル

10年後には、現在はまだ存在しない新たな仕事が、全体の**40~60%**を占めることが予想されています。⁹急速に変化しつつある求人市場では、次のようなスキルが求められます。^{10, 11, 12}

- テクノロジーの使用と開発**
職務の例: IoTソリューションアーキテクト
- 問題解決**
職務の例: データ調査官
- 自己管理**
職務の例: AR(拡張現実)ジャーニー開発者
- 人々との連携**
職務の例: 人材&ロボットマネージャー

詳細な情報は「**未来の働き方**」をご覧ください

1 「These Are the Top 10 Job Skills of Tomorrow—and How Long It Takes to Learn Them」, 世界経済フォーラム, 2020年10月

2 「Building the Vital Skills for the Future of Work in Operations」, McKinsey社, 2020年8月

3 オートデスクがBusiness Advantage Group社に委託して実施した経営幹部のインサイト調査, 2021年

4 「The Future of Work Is Now: Is APAC Ready?」, Deloitte社, 2021年2月

5 「The Future of Work Is Now: Is APAC Ready?」, Deloitte社, 2021年2月

6 「Supporting Worker Success in the Age of Automation」, Deloitte社, 2019年6月

7 「An Exciting New Normal for Flexible Working」, Unilever社, 2020年6月

8 IBM社「SkillsBuild」Webサイト

9 「Reskilling, Upskilling, and Workplace Learning for Industry 4.0」, CGS社, 2020年9月

10 「These Are the Top 10 Job Skills of Tomorrow—and How Long It Takes to Learn Them」, 世界経済フォーラム, 2020年10月

11 「Blue Collar to New Collar—The Future Workforce of Manufacturing」, MAU Workforce Solutions社, 2021年4月

12 「21 Jobs of the Future: A Guide to Getting—and Staying—Employed for the Next 10 Years」, Cognizant社, 2019年